

# 第3次八頭町男女共同参画プラン (案)

～男女がともに輝くまちづくりをめざして～

平成28年3月

# 目次

## 第1章 計画の基本的な考え方

1. 計画策定の趣旨 .....	3
2. 計画の位置づけ .....	3
3. 計画の期間 .....	4
4. 基本理念 .....	4
5. これまでの取り組みの総括 .....	4
6. 計画策定の経緯 .....	5
7. 計画の構成 .....	6
8. 第3次八頭町男女共同参画プラン体系図 .....	6

## 第2章 施策の基本的方向と具体的展開

### I 男女がともに参画するひとづくり

1 男女共同参画に向けた教育の充実 .....	7
① 学校教育・社会教育における男女共同参画推進 .....	8
② 家庭や地域における教育・学習の充実 .....	8
③ 子どもの発達段階に応じた男女平等教育の推進 .....	9
2 あらゆる暴力の根絶 .....	10
① 防止に向けた意識啓発 .....	11
② 情報提供と相談窓口の充実 .....	12
③ 被害者の救済と支援 .....	12

### II 男女がともに担う暮らしづくり

3 職場における男女共同参画の推進 .....	13
① 男女の雇用機会均等の定着促進 .....	14
② 女性の積極的な登用 .....	14
③ 女性の再就職などチャレンジ支援（女性活躍推進法関連） .....	15
4 家庭における男女共同参画の推進 .....	16
① 家庭生活における固定的性別役割分担意識の解消 .....	17
② 男性の家庭生活への参画促進 .....	17
③ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進 .....	17
5 生涯を通じた男女の健康支援 .....	18
① 各年代に応じた男女の健康増進 .....	19
② 母性の保護と母子保健対策の推進 .....	19
③ 健康を支える食育の推進 .....	19

### Ⅲ男女がともに支えあう地域づくり

6	政策・方針決定過程への女性の参画拡大	20
①	意思決定の場への女性の参画拡大	21
②	女性人材・リーダーの発掘・育成	21
③	まちづくりへの女性参画に対する住民関心の喚起	21
7	男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し	22
①	住民活動への女性の参画	23
②	多様性を認めあう意識の啓発	23
③	人権を尊重した社会環境の醸成	23
8	地域における男女共同参画の推進	24
①	地域活動団体などの育成・支援	25
②	防災・災害対策の分野における男女共同参画の推進	25
③	子育て支援サービスの充実	26

### 第3章 計画の推進

1.	八頭町男女共同参画審議会の設置	27
2.	行政内部の推進本部の設置	27
3.	民間団体との連携	27
4.	八頭町男女共同参画センター「かがやき」	27

調査資料

参考資料

## 第1章 計画の基本的な考え方

### 1 計画策定の趣旨

私たちが目指す男女共同参画社会とは「男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」(男女共同参画基本法第2条)です。このような社会では、女性も男性も共に、職場・家庭・地域などで個性と能力を発揮し、一人ひとりの人権を尊重し、助け合いながら豊かな生き方を実現することができます。

八頭町では、このような社会をつくるため、「八頭町男女がともに輝くまちづくり条例」を制定し、男女共同参画によるまちづくりの基本理念を定め、「第1次、第2次八頭町男女共同参画プラン」において、理念実現に向けた具体的な施策を設定し、「男女共同参画センター『かがやき』」を施策の実施拠点として位置づけ、積極的に展開を進めてきました。

こうした取り組みにより、審議会などにおける女性の登用率が着実に上昇するなど人材の育成が進みました。また、男性を対象とした育児講座や料理教室などを通じて、男性の家事・育児参加を図るとともに女性の就労状況改善において一定の成果も見られます。

しかしながら、我が国のジェンダー・ギャップ指数(国ごとの男女格差を測るもの)は世界104位(世界経済フォーラム「The Global Gender Gap Report」2014年)と先進国の中でも著しく低い状況にあります。特に政治、経済分野における数値が低く、政策・方針決定過程への女性参画比率が少ないことや職場における男性との処遇の違い、賃金格差などが伺えることから、女性の自立と社会参画が十分には進んでおりません。

その一方で、社会環境は、少子高齢化の進展と人口減少社会の到来、政治の低迷と閉塞感の高まり、非正規労働者の増加と貧困・賃金格差の拡大など、急速に変化する状況にあって、女性の自立と幅広い分野への参画を進め、女性の個性と能力を男性と共に社会に活かしていくことは、新たな活力ある社会づくりを進めるうえで、ますます重要になっています。

このような観点から、『女性も男性も自分の意志で社会に参画し、支え合い、喜びも責任も分かち合い、男女がともに輝くまちづくり』すなわち、男女共同参画社会の実現を目指して「第3次八頭町男女共同参画プラン」を策定します。

### 2 計画の位置づけ

この計画は、「男女共同参画社会基本法」第14条第3項及び「八頭町男女がともに輝くまちづくり条例」第9条第1項の規定に基づいて策定するもので、八頭町の男女共同参画社会の形成を推進するための指針となる計画です。

### 3 計画の期間

この計画の期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間とします。  
なお、社会情勢の変化に合わせ、必要に応じて見直しを行ないます。

### 4 基本理念

この計画は、「男女共同参画社会基本法」及び「八頭町男女がともに輝くまちづくり条例」に基づき、次に掲げる事項を基本理念として男女共同参画によるまちづくりを推進することとします。

- (1) 男女が互いにその人権を尊重すること。
- (2) 男女が性別による差別を受けないこと。
- (3) 男女が互いの性を尊重し、性と生殖に関する健康と権利を認め合うこと。
- (4) 男女が社会のあらゆる分野で個性と能力を十分に発揮できる機会が確保されること。
- (5) 男女が自立した個人として自己の意思によって活動し、かつ責任を負うこと。
- (6) 男女が子の養育、家族の介護その他の家庭生活における活動の中で、対等な役割を果たすこと。
- (7) 男女が政治活動、経済活動、地域活動その他の社会活動に対等な立場で参画し、かつ責任を分かち合うこと。

### 5 これまでの取り組みの総括

八頭町では、平成17年に「八頭町男女がともに輝くまちづくり条例」を制定し、男女共同参画に関する基本計画の策定を義務付け、平成18年に「八頭町男女共同参画プラン」を策定し、平成22年には「八頭町男女共同参画センター『かがやき』」を設置して、施策の積極的な展開を図ってきました。平成23年の計画改定において、社会情勢はもちろん、町民意識調査の結果を勘案し、「第2次男女共同参画プラン」へと移行し、さらなる男女共同参画社会の形成の進展へ向けた様々な施策に取り組んできました。計画した施策については、概ね実施することができましたが、一部、目標に到達できなかった事業もありました。

また、平成27年7月に実施した「男女共同参画に関するアンケート調査」（以下、「アンケート調査」という。）の結果から、次の事項が明らかになりました。

- (1) 男女がともに家事・育児・介護へ携わるために学校や家庭での教育・学習機会の必要性を感じておられる方は多く、小・中・高等学校での男女平等教育の必要性は非常に高い数値が示されました。
- (2) 配偶者などへの暴力について、当事者数は少ないもののDVの実態がみられ、それに対する相談・救済事業の充実や幼少期からの暴力防止学習が求められていることが明らかになりました。
- (3) 女性の就労において、「ずっと仕事をする」ことを望む方が多い中、給与や休暇取得などの労働条件で、女性に不利と感じる方が一定数おられること、乳幼児の養育に関して、多くの方が継続就労する上での一つの障がいになっていると感じ、企業の意識・制度改革や行政の支援が求められていることが

明らかになりました。

- (4) 家庭生活のあらゆる場面において、理想と実生活を比較すると女性の負担割合の高さとそれに対する不満感が現れており、家庭生活での負担の大きさが地域活動の制限へと繋がっている可能性が伺えます。
- (5) 男女の地位で不平等感が強いのは「社会通念・習慣しきたり」「社会全体として」であり、「社会習慣や制度」「性別による役割分担意識の存在」に対して多くの方が女性の人権が尊重されていないと感じていることから、地域コミュニティや社会生活における固定的性別役割分担意識\*の強さが伺えます。
- (6) 男女共同参画社会を実現するために、町に求めるものとして、「働く環境の改善」「家事育児サポート事業の充実」と併せ「女性の行政への参加・参画促進」が上位となったことから、「就労による女性の経済的自立」「子育てを男女が同じように担っていくとともに、地域社会全体で支える子育て」「男女がともに考え、支えあう地域社会の実現」を目指した取り組みの必要性が明らかになりました。

以上の点を踏まえ、「第3次八頭町男女共同参画プラン」において、基本目標を次の3点に定め、目標達成に向けた具体的施策を展開していくこととします。

I) 男女がともに参画するひとづくり

II) 男女がともに担う暮らしづくり

III) 男女がともに支えあう地域づくり

## 6 計画策定の経緯

- ①平成27年6月 第1回男女共同参画審議会開催  
\*平成23年3月に策定した「八頭町男女共同参画プラン」の進捗状況及び総括について審議  
\*男女共同参画に関するアンケート調査の実施について内容などを審議
- ②平成27年7月 男女共同参画に関するアンケート調査の実施
- ③平成27年9月 第2回男女共同参画審議会開催  
\*アンケート調査結果の分析・第3次八頭町男女共同参画プランの骨子案審議
- ④平成27年10月 第3回男女共同参画審議会開催  
\*第3次八頭町男女共同参画プラン(案)について審議
- ⑤平成27年11月 町民意見募集(パブリックコメント)
- ⑥平成 年 月 議会説明
- ⑦平成 年 月 男女共同参画推進本部会議
- ⑧平成 年 月 第4回男女共同参画審議会  
\*第3次八頭町男女共同参画プラン(案)について審議
- ⑨平成 年 月 第5回男女共同参画審議会
- ⑩平成28年 3月 第3次八頭町男女共同参画プラン策定

---

\*固定的性別役割分担意識…男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにも関わらず、「男は仕事・女は家庭」「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等のように、男性、女性という性別を理由として役割を分ける考え方のこと。

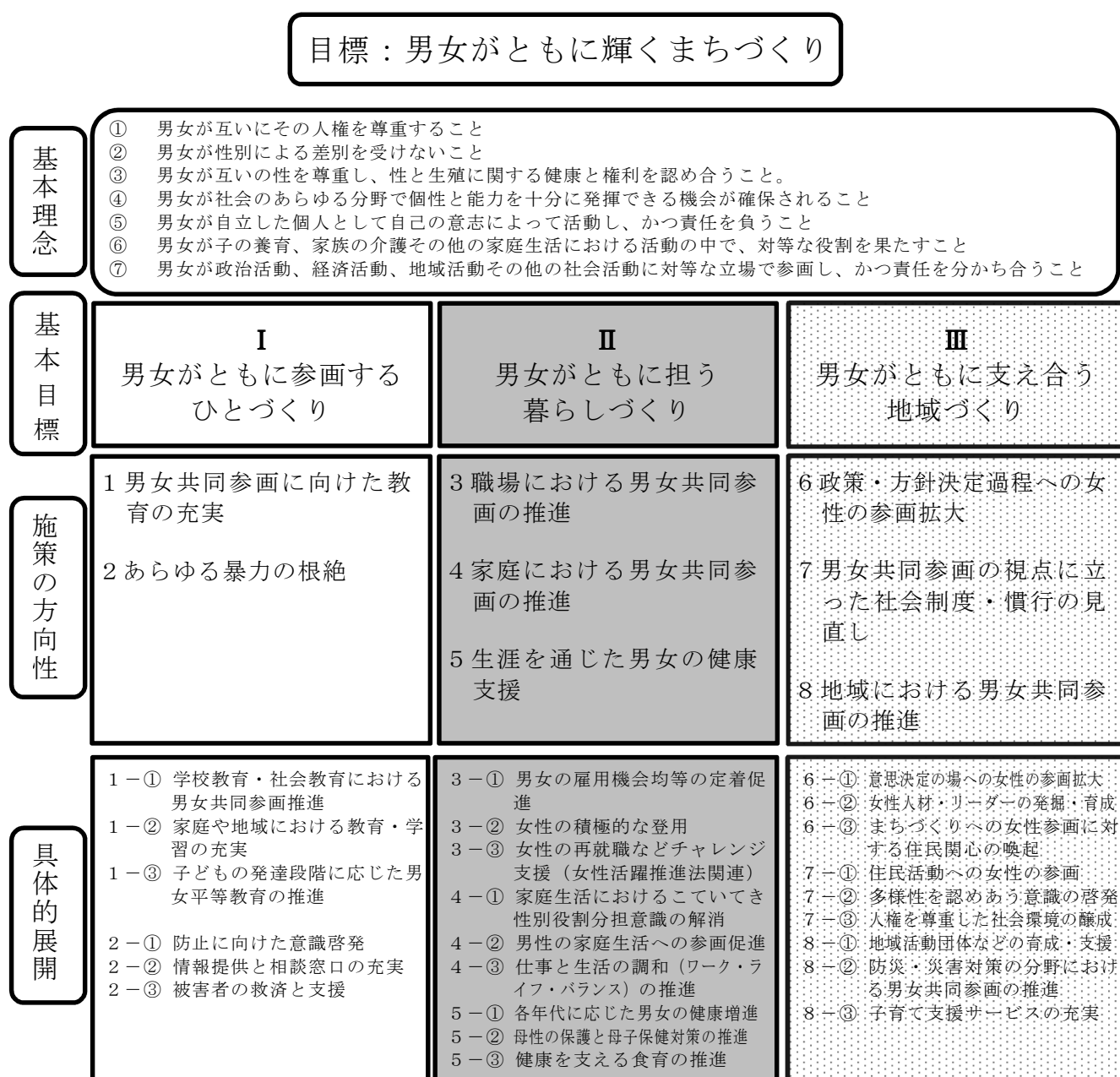
## 7 計画の構成

第1章は、「計画の基本的な考え方」として、計画策定の趣旨、計画の位置づけ、期間などを記述しています。

第2章は、「施策の基本的方向と具体的展開」として、基本目標、重点目標、施策の方向を示し、それに向けての具体的施策を記述しています。

第3章は、これらの取り組みを総合的かつ計画的に推進するための「推進体制」について記述しています。

## 8 プランの体系図



## 第2章 施策の基本的方向と具体的展開

### I 男女がともに参画するひとづくり

#### 1 男女共同参画に向けた教育の充実

##### 【現状と課題】

男女共同参画社会を実現するためには、町民一人ひとりが男女共同参画についての正しい知識や自立の意識を持つ事が大切です。人権尊重を基盤にした男女共同参画についての意識を醸成し、ジェンダー意識\*にとらわれず男女がともに個性や能力を発揮するために、学校、家庭、地域、職場など様々な場で教育・学習を進めることはとても重要です。

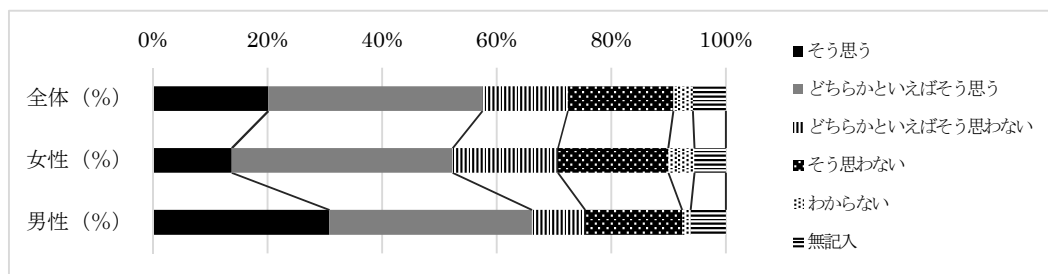
今回（平成27年）行った「八頭町男女共同参画に関するアンケート調査」（以下「アンケート調査」という。）では、子育てに関する設問内で「女らしく、男らしく」育てるほうがよい、どちらかと言えばよい、と5割以上の方が回答しています。（図－1）

個人の意思に無配慮な、「男だから」「女だから」といった性別による画一的な価値観や扱いは、子どもたちが固定的性別役割分担意識を意図せず内在させることになりかねません。養育する立場にある大人たちがこのことに留意し、併せて子どもの自由と自立が促進されるよう、人権について理解を深める学習の機会を確保することが必要です。

（図－1）

問10-① 女の子は「女らしく」、男の子は「男らしく」育てるのがよい

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無記入	合計
全体人数	35	65	26	32	6	10	174
全体（％）	20.1％	37.4％	14.9％	18.4％	3.4％	5.7％	100.0％
前回調査	20.8％	47.9％	9.7％	14.4％	3.0％	4.2％	
女性人数	15	42	20	21	5	6	109
女性（％）	13.8％	38.5％	18.3％	19.3％	4.6％	5.5％	100.0％
前回調査	16.7％	42.1％	12.7％	19.0％	3.2％	6.3％	
男性人数	20	23	6	11	1	4	65
男性（％）	30.8％	35.4％	9.2％	16.9％	1.5％	6.2％	100.0％
前回調査	25.5％	54.5％	6.4％	9.1％	2.7％	1.8％	



\*ジェンダー意識…社会的、文化的に作られた「男らしさ」「女らしさ」などの画一的で多数派の規範意識



## 【施策の方向性】

### ①学校教育・社会教育における男女共同参画推進

未来を担う子どもたちの男女共同参画の理解を深めることと併せて教職員自身や大人においても社会教育の場を通じて理解の推進を図ります。

具体的施策	施策内容	担当課
女性の登用促進・啓発	・PTA会長 H26年度0%→H32年度目標30%	教育委員会
性別にとらわれない教職員の配置	・小学校低学年の担任 H26年度 男20%女80% →H32年度目標 男50%女50%	教育委員会
学校における適切な性に関する教育の推進	男女の性に関し、人権尊重・男女平等の精神に基づく正しい知識を身に付けるための教育を推進します。	教育委員会
誰もが参加しやすいPTA活動の推進	PTA活動や参観日の日程・内容について配慮を行うなど、保護者が参加しやすい環境づくりに努めます。	教育委員会
学校における人権尊重教育の充実	人権に関する教育の充実を図ります。	教育委員会 人権推進課
教育関係者の男女共同参画意識の向上	教育関係者の男女共同参画意識を高めるために啓発講座や研修の充実を図ります。	教育委員会 男女共同参画センター
生涯学習参加促進	誰もが参加しやすいように、生涯学習講座など各種研修会の開催日時に配慮を行い、町民の学習参加を促進します。	教育委員会 中央公民館

### ②家庭や地域における教育・学習の充実

保護者・地域住民が男女共同参画に関する学習活動へ積極的に参加できる機会を提供することで、子どもたちが固定的な性別による規範意識にとらわれることなく、自らの生き方を主体的に選択する能力を育んでいける体制づくりを図ります。

具体的施策	施策内容	担当課
家事や育児・介護を体験する機会の創出	男女ともに必要な育児や介護に対する関心を高めるための交流や学習に努めます。	教育委員会 子育て支援センター 男女共同参画センター
女性のエンパワメント*	女性のための教養講座及び育成講座などを開催し、学習活動の充実を図ります。	教育委員会 中央公民館 男女共同参画センター

\*女性のエンパワメント…女性が自らの意識と能力を高め、社会のあらゆる分野で、政治的、経済的、社会的及び文化的に力を持った存在となり、力を発揮し、行動していくこと。

### ③子どもの発達段階に応じた男女平等教育の推進

学校教育は、今後の社会全体における男女共同参画を推進することにもつながり、発達段階に応じて、人権の尊重、男女の平等についての指導の充実に努めます。

具体的施策	施策内容	担当課
男女共同参画意識を育む教育・学習の充実	保育所・小学校・中学校で心身の発達段階や年代に応じた男女平等教育・学習を推進します。	教育委員会
男女共同参画の視点を踏まえた児童・生徒指導	児童生徒が自己の資質適性を発見し、幅広い視野から性別にとらわれない進路、多様な生き方の選択ができるよう、教育・指導を行います。	教育委員会

## 2 あらゆる暴力の根絶

### 【現状と課題】

男女間におけるあらゆる暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。平成12年11月には「ストーカー行為等の規制等に関する法律」（ストーカー規制法）が施行され、平成13年10月には「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」（DV防止法）が施行されました。

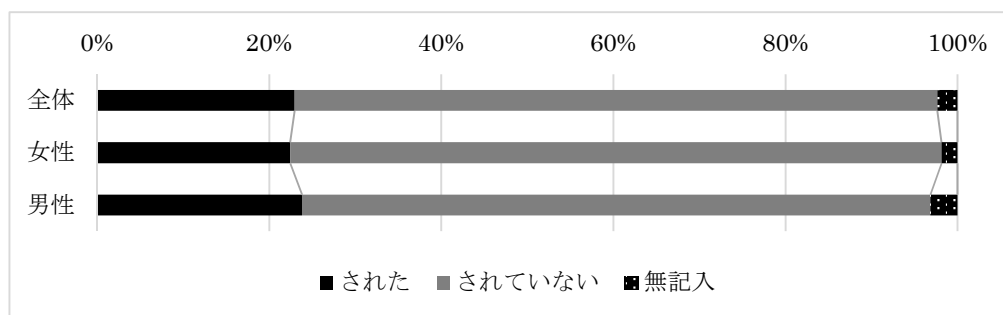
しかしながら、DV被害は社会的な理解や当事者の意識が不十分なため潜在化している状況も多くあり、DV被害は虐待へと形を変え、子どもにも影響を及ぼす可能性があります。また、「アンケート調査」でDVの体験を尋ねた項目では、2割以上の女性は何らかの暴力を受けていることが分かりました（図－2）が、その相談相手として公的相談機関を挙げたのはわずかで、大部分が家族や知人、友人ということでした。

こうした状況をふまえ、あらゆる暴力を防止するため、関係機関との連携を含め、DVを根絶するための社会的認識の周知や、予防教育・相談窓口の充実を図ることが重要です。《DV防止法関連》

（図－2）

問26 「ドメスティック・バイオレンス（DV）＊」についてうかがいます。  
DVは、家族間、とりわけ配偶者やパートナーからの身体的、精神的、性的な暴力をさすものです。  
あなたは、これまでに配偶者やパートナーとの間で、DVをされたことがありますか。

	された	されていない	無記入	全体
全体人数	39	127	4	170
全体(%)	22.9%	74.7%	2.4%	100.0%
女性人数	14	81	2	107
女性(%)	22.4%	75.7%	1.9%	100.0%
男性人数	15	46	2	63
男性(%)	23.8%	73.0%	3.2%	100.0%



＊ドメスティック・バイオレンス（DV）…配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力のこと。暴力の形態として、身体的暴力、精神的暴力、性的暴力などがある。

## 【施策の方向性】

### ①防止に向けた意識啓発

デートＤＶやスクールセクハラなど、被害の低年齢化も社会的に大きな問題となっています。若年層に対しては、暴力によらない問題解決の方法が身につくよう、予防啓発や年齢に応じた学習機会の充実を図ります。

具体的施策	施策内容	担当課
男女間における暴力根絶への社会的認識の徹底、啓発	広報誌などを通じて、ＤＶは犯罪であるという認識を高めるとともに、研修や防止啓発講座を行うことで、ＤＶの根絶を目指します。	保健課 福祉環境課 人権推進課 福祉事務所 男女共同参画センター
セクシュアル・ハラスメント*防止啓発	地域社会、教育の場などにおけるセクシュアル・ハラスメントの防止のための啓発活動を行います。	全課
デートＤＶ、スクールセクハラ防止啓発	お互いを尊重し対等な関係が築けるよう、教育現場におけるセクハラ、恋人同士でおきる暴力（デートＤＶ）などに関する正しい知識と防止啓発活動を行います。	教育委員会 男女共同参画センター
児童虐待防止啓発	啓発パンフレット配布、ポスター掲示を行うなど、防止啓発に努めるとともに、個別支援会議、ケース検討会での関係機関との連携、情報共有をし、早期発見・早期対応の体制整備を図ります。	保健課 福祉環境課 人権推進課 教育委員会 男女共同参画センター
高齢者虐待防止啓発	虐待などの被害防止するため、町内福祉事業所に対し、高齢者虐待防止に関する周知、啓発を行います。 講演会、認知症サポーター養成講座を各集落、各種団体対象に開催し、認知症を原因とする高齢者虐待を防止するための周知啓発に努めます。	保健課

\*セクシュアルハラスメント…相手の望まない性的な言動又は性差別的な意識による精神的な暴力や嫌がらせ。

## ②情報提供と相談窓口の充実

暴力は犯罪であり、「決して許されないものである」との認識を広く社会に徹底することは重要であり、そのような啓発活動を行うとともに早期発見につながる体制づくりを推進します。

具体的施策	施策内容	担当課
相談窓口の充実	人権擁護委員による人権相談窓口や弁護士による法律相談窓口などを開設し、相談しやすい体制整備を図るとともに、被害の顕在化を防止し、効果的な相談業務に努めます。	保健課 福祉環境課 人権推進課 福祉事務所 男女共同参画センター
被害者の早期発見	医療機関・弁護士・民間支援団体などの関係機関・関係各課との連携を強化し、DVなどの相談業務をしている専門機関の情報を提供するとともに、必要な援助が幅広く行えるように努めます。	保健課 福祉環境課 人権推進課 福祉事務所 男女共同参画センター

## ③被害者の救済と支援

被害者の置かれた立場を十分理解し、適切な対応をとることができるよう、担当職員の研修の充実など資質の向上にも努めていきます。

具体的施策	施策内容	担当課
職員の人材確保と研修の充実	二次被害を防止し、適切な被害者支援・対応をするための研修の充実や職員の資質の向上に努めます。	全課
公的相談機関、民間支援団体との連携促進	福祉相談センター、法務局などの公的相談機関、民間支援団体などと連携し、支援・相談体制の強化に努めます。	保健課 福祉環境課 人権推進課 福祉事務所 男女共同参画センター

## Ⅱ 男女がともに担う暮らしづくり

### 3 職場における男女共同参画の推進

#### 【現状と課題】

近年、少子高齢化が進み八頭町においても生産年齢人口が減少傾向にある中、女性の意欲と能力が雇用の場で活かされることは活力あふれる社会の実現に大きく寄与すると考えられます。この5年の間に「男女雇用機会均等法」「パートタイム労働法」「育児・介護休業法」が改正されるなど、女性の就労に関して整備が進められてきました。

これら社会制度の構築や雇用環境の変化などに伴い、結婚や出産をした後も働き続けたい、退職後に再び働きたいと思う女性は増加傾向にあり、女性への再就職やキャリアアップなどの支援の必要性は近年、益々高まっています。「アンケート調査」でも、望ましい女性の働き方として、ずっと仕事をするを7割程度の方が選択されています。（図－3）

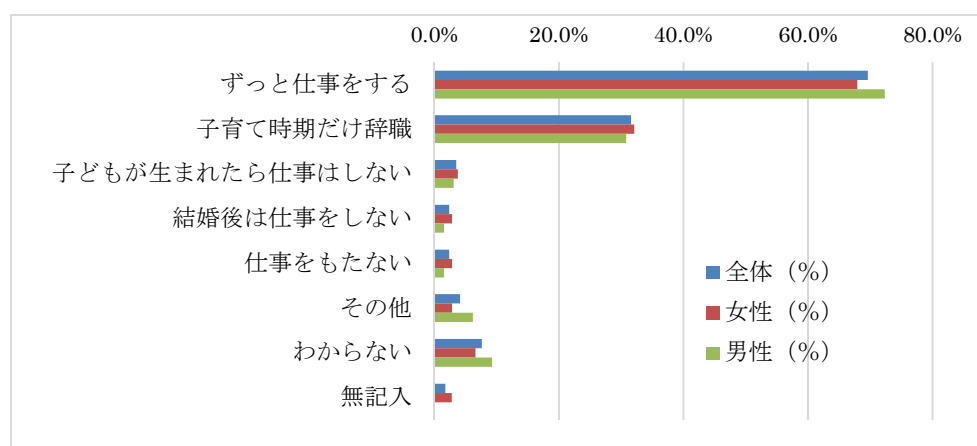
本人の意思が尊重され、男性も女性も職業生活と家庭生活との円滑かつ継続的な両立が可能となるよう、啓発活動を充実させることが重要となります。

（図－3）

問17 女性の働き方について、あなたが望ましいと思うのは次のどれですか。

【あてはまる数字すべてに○をつけてください。】

	結婚後は仕事をしない	子どもが生まれたら仕事はしない	子育て時期だけ辞職	ずっと仕事をする	仕事をもたない	その他	わからない	無記入	合計	N
全体人数	4	6	54	119	4	7	13	3	207	171
全体（％）	2.3%	3.5%	31.6%	69.6%	2.3%	4.1%	7.6%	1.7%	121.1%	
前回調査	1.3%	3.8%	68.2%	30.1%	1.7%	3.4%	8.1%	2.1%		
性別ごと										
女性人数	3	4	34	72	3	3	7	3	126	106
女性（％）	2.8%	3.8%	32.1%	67.9%	2.8%	2.8%	6.6%	2.8%	118.9%	
前回調査	0.8%	2.4%	73.0%	34.1%	1.6%	4.0%	6.3%	0.8%		
男性人数	1	2	20	47	1	4	6	0	81	65
男性（％）	1.5%	3.1%	30.8%	72.3%	1.5%	6.2%	9.2%	0.0%	124.6%	
前回調査	1.8%	5.5%	62.7%	25.5%	1.8%	2.7%	10.0%	3.6%		



## 【施策の方向性】

### ①男女の雇用機会均等の定着促進

性別を理由とする差別的扱いやセクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業等を契機とする不利益取扱い（以下、「マタニティ・ハラスメント」という。）などの根絶、男女間の賃金格差の解消など、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保を推進するうえでの啓発を行います。

具体的施策	施策内容	担当課
育児・介護休業法など制度の周知と利用啓発	育児・介護休業制度など多様な働き方を可能とする制度の普及啓発と利用促進を行います。 ・女性の育児休業取得率の向上 鳥取県H26年度85.3% →H32年度目標100% ・男性の育児休業取得率の向上啓発 鳥取県H26年度5.52% →H32年度目標10%	福祉環境課 保健課 男女共同参画センター
男女間の賃金格差の是正啓発	町内企業への啓発を行います。 (全国) H25年度男100% 女77.7% →H32年度男100% 女80% (国目標値)	産業観光課 総務課 男女共同参画センター
男女雇用機会均等法など、関係法の周知啓発	男女雇用機会均等法などの労働関連法について、町報やパンフレットなどで周知と啓発を行い、町内企業における男女の機会均等と公正な処遇の確保に努めます。	産業観光課 総務課 男女共同参画センター
あらゆるハラスメント*防止に向けての取組推進	セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント*、モラル・ハラスメント*、マタニティ・ハラスメント防止に向けて啓発を行うとともに、相談窓口の充実と関係機関との連携強化を図ります。	全課

### ②女性の積極的な登用

就業は生活の経済的基盤であり、女性の安定した就労を図ることは経済的な自立の基盤でもあり、また働くことは自己実現につながるものでもあります。働きたい人が性別に関わりなくその能力を十分に発揮することができる社会づくりは男女共同参画社会の実現にとって極めて重要な課題であり、各分野における女性登用率の増加を図ります。《女性活躍推進法関連》

具体的施策	施策内容	担当課
役場内部の女性の管理職への積極的登用	H26年度40% →H32年度目標30%	総務課
女性の活躍推進法の啓発	女性が職業生活において、個人の希望に応じて能力を十分発揮し、活躍できる環境が整うよう、啓発に努めるとともに、女性の活躍に関する情報提供に努めます。	産業観光課 総務課 男女共同参画センター

\*ハラスメント…様々な場面での嫌がらせ。

\*パワーハラスメント…職場の権力（パワー）を利用した嫌がらせ。

\*モラルハラスメント…言葉や態度などによって心を傷つける精神的嫌がらせ。

具体的施策	施策内容	担当課
企業における女性の能力発揮のための積極的取組(ポジティブアクション*)の推進啓発	町内企業へ女性の活躍推進法の啓発周知及び女性登用に関する取り組みを促進します。	産業観光課 総務課 男女共同参画センター
男女のそれぞれ少ない職業分野への参加促進	町報や4コマ漫画を通じて、性別にとらわれない職業分野への参画を推進します。	男女共同参画センター
自営業における家族従事者の就労環境の改善促進	商工会や農業協同組合などとの連携により、就労環境の改善へ向けた啓発を推進します。	産業観光課
農業分野における女性の活躍促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の農業士数の拡大 H26年度2人(40%) →H32年度目標2人(40%)</li> <li>・農業協同組合の女性正組合員加入促進 H26年度470人(15.8%) →H32年度目標540人(25%)</li> <li>・家族経営協定*の締結促進 H26年度7件→H32年度目標10件</li> </ul>	産業観光課
職場体験事業の実施	中学生を対象に、職場体験を行い、性別に関わらず様々な職業について体験し、職業意識の育成を図ります。	教育委員会

### ③女性の再就職などチャレンジ支援

女性が就労を継続していくためには、家事・育児・介護は女性が担うべき、といった固定的性別役割分担意識やそれに基づく社会的慣行を改め、男性も家事・育児・介護を分担しやすい職場環境を推進するための啓発を行います。《女性活躍推進法関連》

具体的施策	施策内容	担当課
再就職に向けた支援活動の推進	再就職支援講座など、再就職に関する相談・就業支援の情報提供を行います。	産業観光課 教育委員会 男女共同参画センター
女性起業家・女性自営業者に対する支援活動の推進	女性チャレンジ講座などを開催し、女性の起業に関する相談に応じるとともに、活動支援を図ります。 農業協同組合・農業改良普及所と連携して女性の農業起業グループへの活動支援を図ります。	産業観光課 男女共同参画センター
保育所入所に関する情報提供	保育所の入所手続きや入所状況を町ホームページへ掲載し、働く保護者の家庭と仕事の両立支援を図ります。	福祉環境課 企画課

\*ポジティブアクション…社会的・構造的な差別によって不利益を被っている者に対して、一定の範囲で特別の機会を提供することなどにより、実質的な機会均等を実現することを目的として講じる暫定的な措置のこと

\*家族経営協定…家族農業経営にたずさわる各世帯員が、意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づきルールを文書で取り決めること。



# 4 家庭における男女共同参画の推進

## 【現状と課題】

家庭において、女性と男性が共に家庭内の役割を分担することは、男女共同参画の基本的な考え方の一つです。

しかしながら、「アンケート調査」では、家庭生活の分担について、理想と実生活について尋ねた項目では、妻または女性に対する負担割合の大きさが同え、それに対する満足感を聞いた設問では、満足派と不満足派の割合は男女間で大きく差が開いており、男女の認識の違いが目を見せます。（図－4）

また国の資料によると、家事・子育て・介護などは、依然として職業の有無に関わらず、女性が担っている現状が多く見受けられ、諸外国との国際比較においても女性の負担が大きいことが明らかです。

家庭は、生活の基盤となる場所であり、特に子どもにとっては人格を形成する上で非常に大きな役割を担っており、家庭における男女共同参画の推進は、重要な分野の一つといえます。

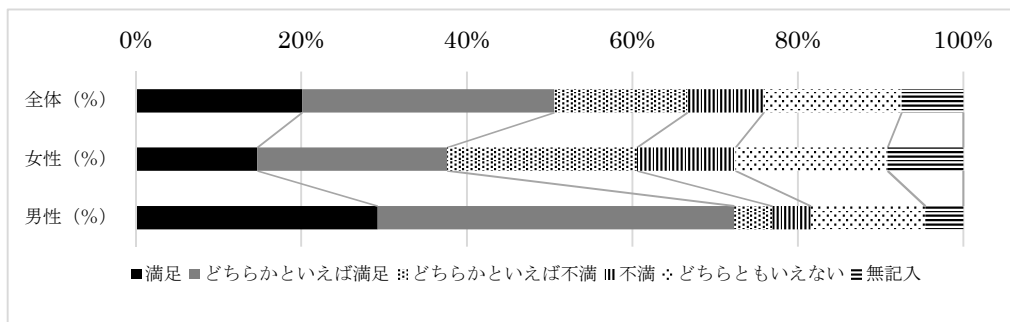
男女がお互いを尊重し支え合う気持ちを持って、どちらか一方に責任と負担が偏ることがないように、役割分担をすすめていくことが重要です。

（図－4）

問6 現在の家事分担について、あなたは満足していますか。

【あてはまる数字1つに○をつけてください。】

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	どちらともいえない	無記入	合計
全体人数	35	53	28	16	29	13	174
全体（％）	20.1	30.5	16.1	9.2	16.7	7.5	100.0
前回調査	22.9	25.4	8.5	5.5	34.3	3.4	
性別ごと							
女性人数	16	25	25	13	20	10	109
女性（％）	14.7	22.9	22.9	11.9	18.3	9.2	100.0
前回調査	19.0	23.8	15.1	0.8	31.7	2.4	
男性人数	19	28	3	3	9	3	65
男性（％）	29.2	43.1	4.6	4.6	13.8	4.6	100.0
前回調査	27.3	27.3	0.9	2.7	37.3	4.5	



## 【施策の方向性】

### ①家庭生活における固定的性別役割分担意識の解消

家庭において男女共同参画の視点が備わり、実践されていれば、子どもは男女共同参画・男女平等を当たり前のこととして学ぶことができます。そういった意味合いからも、男女がともに働き、家事・育児・介護を担うことについて啓発を行います。

具体的施策	施策内容	担当課
子育てフェスティバルの開催	男女が共に関わる子育ての推進に向けた啓発のため、子育てフェスティバルを開催します。	子育て支援センター
母親・父親の育児講座の開催	各保育所、小学校・中学校の保護者を対象とした子育て講座を実施し、家庭内における固定的性別役割分担意識の見直しを図ります。	各保育所 子育て支援センター 福祉環境課 教育委員会 男女共同参画センター

### ②男性の家庭生活への参画促進

男女が互いに尊重し、支え合いながら、家庭生活を営むうえで、男性が積極的に家庭生活へ参画していくことは不可欠であり、子育てにおける固定的性別役割分担意識の見直しなどの啓発講座を行います。

具体的施策	施策内容	担当課
父親の育児講座の開催	男性の子育て講座、育児講座、料理教室などを実施し、父親の育児参加への啓発を行います。	保健課 教育委員会・中央公民館 男女共同参画センター
男性の家庭・地域への参画を可能とする働き方の啓発	男性が家庭・地域へ参画しやすい働き方の改善へ向けた啓発を行います。	全課
介護における男女共同参画意識の啓発	訪問介護ステーションサテライト施設を設置し、在宅医療・介護体制の充実を図るとともに、男性が参加しやすい介護講座を開催するなど、介護における参画意識を啓発します。	保健課

### ③仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス\*）の推進

男女が相互に協力し、家庭の一員としての責任を果たしながら、家庭生活とその他の活動とのバランスのとれた生活が送れるよう、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を図り、家庭生活における固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発を行います。《女性活躍推進法関連》

具体的施策	施策内容	担当課
鳥取県男女共同参画推進企業認定制度の普及啓発	「仕事と家庭の両立に配慮し、男女ともに働きやすい職場環境づくりを積極的に進める企業」への認定啓発を行います。 H27年度14事業所 →H32年度目標24事業所	産業観光課 総務課 男女共同参画センター
職場中心の意識、ライフスタイルの見直し啓発	仕事と家庭の調和を図るため長時間労働の抑制と年次有給休暇の取得促進などワーク・ライフ・バランスの促進を図ります。	全課

\*ワーク・ライフ・バランス…国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会

## 5 生涯を通じた男女の健康支援

### 【現状と課題】

男女が互いの身体的性差を十分に理解しあい、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりをもって生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての前提となるものです。

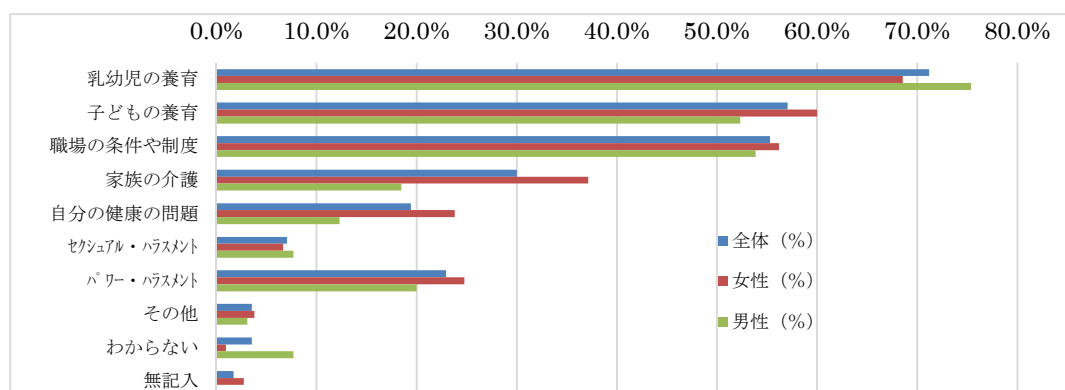
「アンケート調査」で女性が仕事を継続する上での障がいとして、自身の健康問題と捉える方に男女で約2倍の開きがあり（図－5）、「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ\*」（性と生殖に関する健康と権利）の理解を深めることが重要と言えます。

男女が健康保持に向け、定期的に健康診断を受けるなど、生涯を通じた健康支援に関する取り組みを推進するとともに、女性の健康にとって特に大きな節目となる妊娠・出産期において、仕事と生活の調和の確立など支援を受けやすい環境の整備を行なう必要があります。

（図－5）

問20 全国的に出産・子育ての時期に就業を中断する女性が多いのが現状ですが、女性が仕事を続けていく上で、何が障がいになると思いますか。  
【あてはまる数字すべてに○をつけてください。】

	乳幼児の 養育	子どもの 養育	職場の 条件や制度	家族の 介護	自分の 健康の問題	セク シユ アル ・ハ ラス メ ン ト	パ ワ ー ・ハ ラス メ ン ト	そ 他	わ か ら な い	無 記 入	合 計	N
全体人数	121	97	94	51	33	12	39	6	6	3	459	171
全体（％）	71.2%	57.1%	55.3%	30.0%	19.4%	7.1%	22.9%	3.5%	3.5%	1.7%	268.4%	
前回調査	61.4%	50.8%	41.5%	39.4%	21.2%	14.8%	19.5%	2.1%	4.7%	5.9%		
女性人数	72	63	59	39	25	7	26	4	1	3	296	106
女性（％）	68.6%	60.0%	56.2%	37.1%	23.8%	6.7%	24.8%	3.8%	1.0%	2.8%	279.2%	
前回調査	57.1%	51.6%	41.3%	48.4%	27.8%	11.1%	18.3%	1.6%	4.8%	6.3%		
男性人数	49	34	35	12	8	5	13	2	5	0	163	65
男性（％）	75.4%	52.3%	53.8%	18.5%	12.3%	7.7%	20.0%	3.1%	7.7%	0.0%	250.8%	
前回調査	66.4%	50.0%	41.8%	29.1%	13.6%	19.1%	20.9%	2.7%	4.5%	5.5%		



\*リプロダクティブ・ヘルス／ライツ…性と生殖に関する健康・権利。1994年のカイロの国連会議（国際人口・開発会議）で国際的承認を得た考え方で、すべてのカップルと個人が身体的・精神的・社会的な健康を維持し、子どもを産むかどうか、いつ産むか、どれくらいの間隔で産むかなどについて自由に責任をもって選択し、自ら決定する権利のこと。

## 【施策の方向性】

### ①各年代に応じた男女の健康増進

男女が年代や健康状態に応じて適切に自己管理を行えるような健康教室・運動教室、相談体制の充実を図り、人生の各段階に応じた適切な健康の保持・増進に向けた啓発を行います。

具体的施策	施策内容	担当課
健康診査受診率の向上	ライフステージに応じた健診受診率の向上促進 ・特定健診受診の促進 ・乳がん検診受診の促進 H26年度22.1%→H32年度目標50% ・子宮がん検診受診の促進 H26年度31.0%→H32年度目標50%	保健課
生活習慣病、介護予防対策の促進	介護予防、自立促進・健康増進に向けた運動機能向上、口腔機能向上、認知症支援の啓発を行なうなど、予防についての周知・啓発を行ないます。	保健課

### ②母性の保護と母子保健対策の推進

女性は、妊娠や出産をする可能性があり、生涯にわたって男性とは異なる健康上の問題に直面します。女性が健康に過ごすため、心身及びその健康について正しい知識の習得・情報の提供や、男性を含め広く社会全体の認識が高まるよう啓発を行います。

具体的施策	施策内容	担当課
リプロダクティブ・ヘルス／ライツの意識啓発	母性健康管理措置、母性保護規定などについて、母子健康手帳の交付時などの機会に情報提供します。また、リプロダクティブ・ヘルス／ライツがすべてのカップルと個人を対象としており、性と生殖に関する平等な関係性について男女が理解しあい、尊重しあうことの大切さなどについても啓発を行ないます。	保健課 男女共同参画センター
妊娠・出産などにおける女性の健康づくり支援	妊婦健康診査、乳幼児健康診査を実施し、情報提供するとともに、特定不妊治療費の助成を行います。	保健課

### ③健康を支える食育の推進

バランスのとれた食生活、地域における日常的なスポーツ活動を推進することにより健康の保持増進を図り、一人ひとりが健康で充実した生活を送れるよう、生活習慣の見直しや健康づくりを支援します。

具体的施策	施策内容	担当課
生涯を通じての食育の推進	町民健康食育モニタリングを実施するなど、生涯を通じて健全な食生活を送るための食育に取り組んでいきます。	保健課
スポーツ・レクリエーション活動の充実	各種スポーツ大会を開催するとともに、生涯スポーツの促進を図ります。	保健課 教育委員会

### Ⅲ 男女がともに支えあう地域づくり

#### 6 政策・方針決定過程への女性の参画拡大

##### 【現状と課題】

活気ある社会を築いていくためには、女性が社会活動において能力を発揮できる機会の確保が不可欠で、特に行政・政治分野や地域における指導的地位への女性の進出が必要です。

八頭町において、条例などにより設置されている各種審議会委員などへの女性の登用率は42.8%（H27）で5年前の36%から大きく前進しました。

しかしながら、自治会長（区長）の女性比率において、「アンケート調査」では、過半数を超える方が女性区長を賛成とされている（図－6）にも関わらず、現実には女性の区長登用が非常に低い数値となっています。

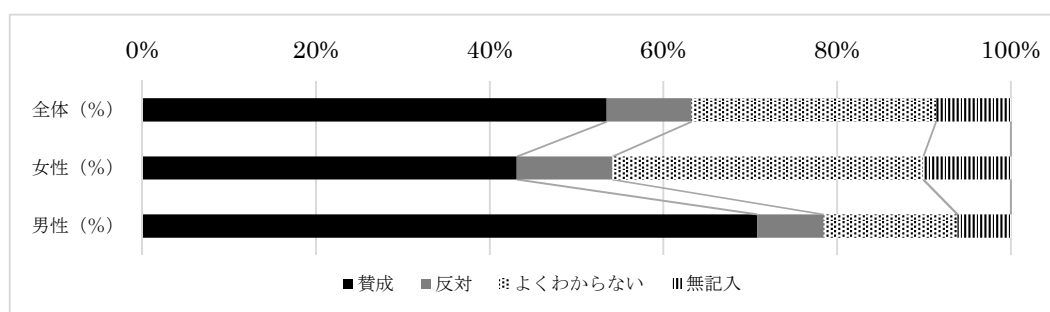
様々な視点や価値観を行政や政策に反映していくため、女性自身が積極的に社会に関わっていく姿勢はもちろん、家族や地域といった周囲が理解を示し、協力していくことも重要となります。

（図－6）

問25 あなたの住む自治会で、女性が区長をすることについて、どうお考えですか。

【あてはまる数字に○をつけ、理由も合わせて記入してください。】

	賛成	反対	よくわからない	無記入	合計
全体人数	93	17	49	15	174
全体（％）	53.4%	9.8%	28.2%	8.6%	100.0%
女性人数	47	12	39	11	109
女性（％）	43.1%	11.0%	35.8%	10.1%	100.0%
男性人数	46	5	10	4	65
男性（％）	70.8%	7.7%	15.4%	6.2%	100.0%



施策内容	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
集落役員（区長）の女性の登用促進	1.5%	0%	0.8%	0%	0.8%	0.8%

（八頭町男女共同参画プラン進捗状況資料より）

## 【施策の方向性】

### ①意思決定の場への女性の参画拡大

町の政策・方針決定過程にかかわる審議会などへの女性の登用を推進するとともに政策立案において、多様な町民ニーズの把握に努めます。

具体的施策	施策内容	担当課
審議会委員などへの女性の登用促進	性別や年代に関わらず多様な意見を町の政策・方針決定に反映するため、各種審議会などへの女性登用を促進します。 ・審議会委員等への女性の登用促進 H27年度42.8%→H32年度目標50% ・農業協同組合役員への女性登用促進 H26年度0人(0%) →H32年度目標2人(40%) ・農業委員への女性登用啓発 H26年度3人(12%) →H32年度目標5人(20%) ・老人クラブにおける女性役員の登用促進 H26年度18.7%→H32年度目標30%	全課
各種団体などへ女性の登用拡大に向けて協力要請	各種団体に向けて女性の登用促進のための広報や啓発、協力を要請していきます。	男女共同参画センター
男女共同の意識啓発	意思決定の場へ女性が主体的に関わることを啓発し、性別にとらわれない役割分担を促進します。	全課

### ②女性人材・リーダーの発掘・育成

女性が政策・方針決定の場へ積極的に参画する上で必要な知識や能力を身につけられるよう、学習機会や情報の提供、交流の推進などを行い、地域活動などにおいてリーダーとなる人材の発掘や育成を行います。

具体的施策	施策内容	担当課
女性の活躍促進のための取り組み	女性の能力開発セミナーを実施するなど、男女共同参画意識を高める学習機会の提供を図ります。	全課
男女共同参画リーダー養成	日本女性会議など、国内・県内などで開催される男女共同参画をテーマとした研修会、講座などに町民を派遣し、男女共同参画リーダーの養成を図り、女性の能力発揮の推進に向けた意識啓発に努めます。	男女共同参画センター

### ③まちづくりへの女性参画に対する住民関心の喚起

女性が町民の過半数を占める状況にあって、まちづくりを推進していく上で、女性の声を各種施策や地域活動へ反映させていくことは不可欠であり、集落役員への女性登用促進を図り、男女協働のまちづくりを推進します。

具体的施策	施策内容	担当課
女性が参画しやすい環境づくりの啓発	地域において女性の意見が反映されやすい環境づくりに向けた働きかけを行います。	全課
集落役員（自治会役員）の女性の登用促進	積極的な広報・啓発を行い、集落役員の女性登用の意識啓発を行います。 H26年度0.8%→H32年度目標10%	総務課 男女共同参画センター

# 7 男女共同参画の視点に立った社会慣習の見直し

## 【現状と課題】

社会における活動や個人の生き方が多様化する中で法律や制度の整備が進められ、様々な分野で男女の平等感も改善方向にあります。しかし、性別による固定的な役割分担意識などを反映して、実質的に女性と男性に中立的に機能しないものが未だに残っています。

また「アンケート調査」では、社会通念・習慣やしきたりなどにおいて、7割の方が男性優遇と回答しています。（図－7）

女性も男性も社会のあらゆる分野で、性別に関わらず個性と能力を十分に発揮できる社会づくりは国が掲げる重要政策の一つでもあり、その理解について啓発を促進し、意識の醸成を図ることは、男女共同参画社会を形成する上で極めて重要です。

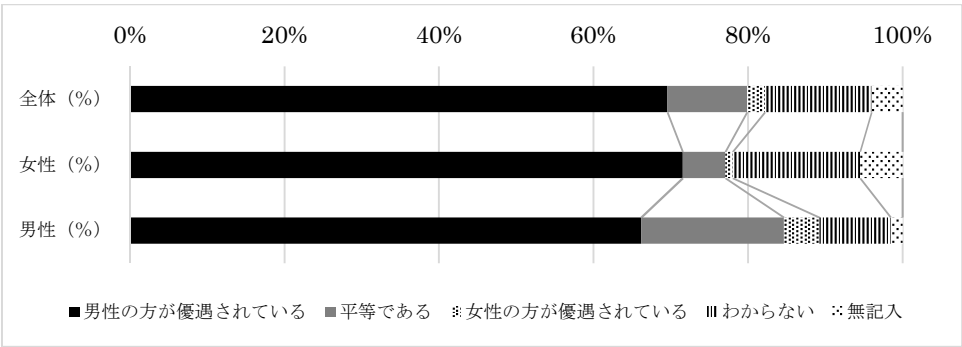
（図－7）

問1 次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

【あてはまる数字1つに○をつけてください。】

⑦社会通念・習慣やしきたりなどで

	男性優遇	平等	女性優遇	わからない	無記入	合計
全体人数	121	18	4	24	7	174
全体（％）	69.5%	10.3%	2.3%	13.8%	4.0%	100.0%
前回調査	68.2%	11.4%	3.0%	16.5%	0.8%	
性別ごと						
女性人数	78	6	1	18	6	109
女性（％）	71.6%	5.5%	0.9%	16.5%	5.5%	100.0%
前回調査	70.6%	7.9%	2.4%	18.3%	0.8%	
男性人数	43	12	3	6	1	65
男性（％）	66.2%	18.5%	4.6%	9.2%	1.5%	100.0%
前回調査	65.5%	15.5%	3.6%	14.5%	0.9%	



## 【施策の方向性】

### ①住民活動への女性の参画

地域社会において、『男性が中心的な役割、女性は補助的な役割』などといった男性中心の習慣やしきたりが、いまだ見受けられるなか、男女共同参画に関する集落研修などを通じて意識啓発を図ります。

具体的施策	施策内容	担当課
男女共同参画センターの充実	学習・啓発・人材育成・集落や各種団体への出前講座などの男女共同参画に関する各種事業を実施します。	男女共同参画センター

### ②多様性を認めあう意識の啓発

社会活動の選択において、男女にとって中立的に働くように慣習を見直すとともに、男女が同等に仕事と家庭、地域活動などに関して責任を担える社会環境の整備や多様性を受け入れる意識啓発を推進します。

具体的施策	施策内容	担当課
固定的性別役割分担意識是正のための意識啓発	性別に関わりなく一人ひとりがお互いを認め合い、尊重しながら共に参画できる男女共同参画社会の形成についての講座・研修を開催したり、広報・啓発に努めます。	全課
男女共同参画フェスティバルの開催	実行委員会と協働で開催し、男女共同参画の推進へ向けた啓発を行います。	男女共同参画センター
男女共同参画カルタ・子育てカルタの活用	固定的役割分担意識の解消に向けて、各種研修会や講演会などで男女共同参画カルタや子育てカルタの利用啓発を行います。	男女共同参画センター

### ③人権を尊重した社会環境の醸成。

一人ひとりの考え方や行動、人権が尊重され、男女が対等な立場で社会活動や地域活動に参画できるような環境づくりや男女共同参画社会の形についての効果的な広報・啓発活動などを推進します。

具体的施策	施策内容	担当課
男女共同参画に関する相談窓口の充実	弁護士によるなんでも相談を実施します。	男女共同参画センター
図書・資料の収集と情報提供	男女共同参画に関する図書・絵本・DVDなどの充実及び貸出、パンフレットなどの資料を収集するとともに情報提供を行います。	男女共同参画センター
町報による広報	4コマ漫画や男女共同参画週間、DV防止月間など時期や社会情勢に合わせて町報、ホームページなどにより啓発します。	男女共同参画センター 企画課



## 8 地域における男女共同参画の推進

### 【現状と課題】

「地域」は、家庭とともに最も身近な暮らしの場であり、町民がいきいきと暮らす「まちづくり」を推進するためには、性別や年代に関わらず地域活動に参画することが重要になります。

しかしながら、「アンケート調査」で町内会・地域において男性優遇とする方の割合は3割を超え、地域の活動や生活に女性の意見が反映されていないとする方は2割を超えています。（図－8）

八頭町においても、近年、少子高齢化・人口減少など、大きな変化が生じる中で活力あふれる八頭町の更なる発展のためには、行政のみならず、町民一人ひとりが地域の中で活躍できることは不可欠であり、男女問わず多様な年齢層の町民が地域の活動に参画することが地域を活性化する上では重要です。

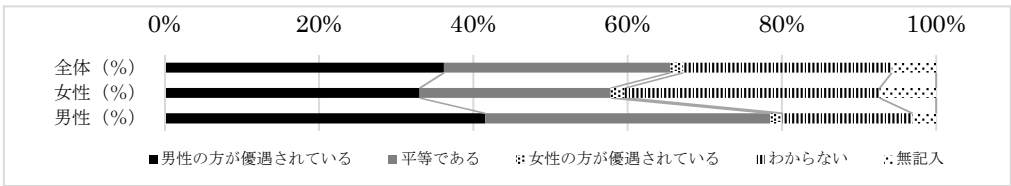
（図－8）

問1 次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

【あてはまる数字1つに○をつけてください。】

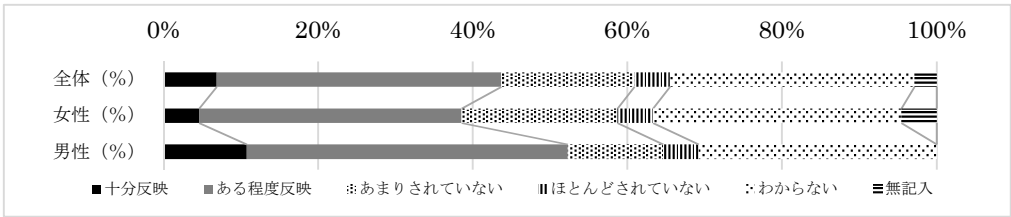
#### ④ あなたの町内会や地域で

	男性優遇	平等	女性優遇	わからない	無記入	合計
全体人数	63	51	3	47	10	174
全体（％）	36.2%	29.3%	1.7%	27.0%	5.7%	100.0%
前回調査	40.7%	30.9%	3.0%	22.5%	3.0%	
性別ごと						
女性人数	36	27	2	36	8	109
女性（％）	33.0%	24.8%	1.8%	33.0%	7.3%	100.0%
前回調査	47.6%	23.0%	0.8%	25.4%	3.2%	
男性人数	27	24	1	11	2	65
男性（％）	41.5%	36.9%	1.5%	16.9%	3.1%	100.0%
前回調査	32.7%	40.0%	5.5%	19.1%	2.7%	



問2 あなたの住む地域では、女性の意見が地域の活動や生活に反映されていると思いますか。【あてはまる数字1つに○をつけてください。】

	十分反映	ある程度反映	あまりされていない	ほとんどされていない	わからない	無記入	合計
全体人数	12	64	30	8	55	5	174
全体（％）	6.9%	36.8%	17.2%	4.6%	31.6%	2.9%	100.0%
女性人数	5	37	22	5	35	5	109
女性（％）	4.6%	33.9%	20.2%	4.6%	32.1%	4.6%	100.0%
男性人数	7	27	8	3	20	0	65
男性（％）	10.8%	41.5%	12.3%	4.6%	30.8%	0.0%	100.0%



## 【施策の方向性】

### ①地域活動団体などの育成・支援

男女共同参画センター登録団体との連携や支援を行うとともに、登録団体制度の普及啓発を行い、地域活動団体における男女共同参画を推進します。

具体的施策	施策内容	担当課
シルバー人材センターの充実	男女がともに高齢者になってもその知識や経験を生かした多様な参画の場づくりを進め、ボランティア活動などの社会貢献を支援します。	保健課
地域活動団体との連携	地域でさまざまな活動を行う団体に対して、男女共同参画登録団体制度の周知を図り、登録団体に対する啓発支援を通じて男女共同参画社会の実現を目指します。	男女共同参画センター
男女共同参画室の充実	三地域に設置されている男女共同参画室の積極的活用を図ります。	男女共同参画センター

### ②防災・災害対策の分野における男女共同参画の推進

防災分野においては、事前の備え、避難所運営、被災者支援などを男女共同参画の視点で捉えることの重要性や女性高齢者の被災割合の高さなどが明らかになっていることから、被災時における男女のニーズの違いを考慮した各種対応マニュアルの作成、防災分野における女性リーダーの育成などを推進します。

具体的施策	施策内容	担当課
地域防災・災害における男女共同参画の推進	被災した立場でも、現場で活動する立場でも男女それぞれの働きが重要となるため、性別にとらわれず、多様な考え方が活かされるよう、地域防災・災害対策への女性の参画を促進します。	総務課 防災室 男女共同参画センター
バリアフリー*、ユニバーサルデザイン*の推進	公共施設建設に当たっては、バリアフリー、ユニバーサルデザイン化に配慮するとともに、各種講演会などでは手話通訳の配置に努めます。	全課

\*バリアフリー…障がい者を含む高齢者等の社会的弱者が、社会生活に参加する上で生活の支障となる物理的な障がいや、精神的な障壁を取り除くための施策、若しくは具体的に障がいを取り除いた事物及び状態

\*ユニバーサルデザイン…文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障がい・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計（デザイン）

### ③子育て支援サービスの充実

子育て分野における相互援助活動を通じて、安心して子育てできる環境づくりや女性の地域参加を支援するとともに様々な地域活動に年齢・性別によらず参画できる基盤作りを推進することで、多様化・複雑化する地域の課題解決に向けた地域住民の結びつき強化に努めます。

具体的施策	施策内容	担当課
保育サービスなどの充実	乳児保育、障がい児保育、延長保育、土曜保育、一時保育、送迎バス運行や第2子以降保育料無料化を実施するとともに、子育てと仕事の両立支援、相談機能の充実を図ります。	福祉環境課 各保育所 子育て支援センター
地域における子育て支援の充実	ファミリーサポートセンター*事業、子育て支援センター事業、放課後児童クラブなどの充実に努め、地域における子育てを支援することで保護者の就労や社会参加を推進します。	福祉環境課 子育て支援センター

---

\*ファミリーサポートセンター…地域において育児を応援してほしい方（依頼会員）と育児を支援したい方（支援会員）が一時的に子どもの世話を有料で行う相互援助活動事業。

## 第3章 計画の推進

男女共同参画社会の形成のための取組を総合的かつ効率的に推進するために、次のとおり推進体制を整備します。

### 1 八頭町男女共同参画審議会の設置

八頭町男女共同参画審議会を設置し、男女共同参画に関する重要事項について調査及び審議します。

### 2 行政内部の推進体制の整備

男女共同参画社会の形成のための取組を総合的かつ効率的に推進するために、役場内部に「八頭町男女共同参画推進本部」を設置し、各課と連携を図りながら総合的に施策に取り組みます。

### 3 民間団体及び地域住民等との連携

男女共同参画社会の形成のための取組を総合的かつ効率的に推進するためには、行政の取組はもとより、民間団体、企業、老若男女を問わず、すべての地域住民と連携を図りながら取り組みを進めます。

### 4 八頭町男女共同参画センター「かがやき」

「八頭町男女がともに輝くまちづくり条例」の理念を反映し、男女共同参画推進拠点施設として、普及・啓発、相談、調査、情報収集・提供などの諸事業を実施します。